

インドネシア活動報告⑥

株式会社マジオネット

JICA 青年海外協力隊 2016 年度 2 次隊

山口 麗子

【今月(8/15~9/15)の活動】

・学校巡回(計 11 回) ・ごみ銀行訪問(計 4 回) ・日本人会会報記事作成

◎学校巡回

今月は 1 日もキャンセルなく、スムーズに巡回を行うことが出来た。9 月から JICA の支援を受けてレンタカーを使用出来るようになったことが大きな要因であると考えます。2 回、3 回と一つの学校を巡回する数が増えてくるにつれ、授業のやり方にも慣れてきた。生徒に考えさせてプレゼンを行わせたり、アクティビティを取り入れて体験型の授業を行えるようになってきた。また、9/14 には初めて学校側からの要請があり、ゲルン第 2 高校にて授業を行った。これまで小中学生しか教えたことがなく、教材作成には悩んだが、地球温暖化とごみ問題、3R という内容で授業を行った。生徒たちは非常に意欲的で真剣に聞いてくれた。12 月に再度訪問予定である。



北ゲルン第一小学校にて。インドネシアは 7 月が新学期で教える学級が変わった。



ゲルン第 2 高校にて。今回の為に垂れ幕まで作って歓迎して頂いた。

◎日本人会会報記事作成

私の任地には、ロンボク島と隣の島であるスンバワ島を含めた「西ヌサテンガラ州日本人会」が存在している。現在、会員は 33 名でそのほとんどがインドネシアで家庭を持ち、長年住んでいる人々である。私は、2 年という期間ではあるが、この日本人会に所属させて頂いている。活動は決して多くないが、地元のあらゆる情報を教えて頂けるので大変助かっている。また、年に 4 回会報が出されており、その中には JICA 隊員が発信するコーナーを設けさせて頂いている。本年 10 月から西ヌサテンガラ州内の JICA 隊員は私のみになる為、前号より引継ぎ、記事作成を行っている。日本人会の方々曰く、日頃の隊員の活動はなかなか知る機会



日本人会総会参加時

がないとのことなので、今後、自分の活動のことだけでなく、インドネシア国内で活躍している隊員のこと等も紹介していく予定である。

【日常生活について～インドネシア独立記念日&犠牲祭～】

8月15日は日本の終戦記念日である。この日、日本は戦争の悲惨さや平和について改めて思い起こすが、その2日後の8月17日はインドネシアの独立記念日である。独立前に占領していたのは日本で、日本が終戦を迎えた直後に独立をしたので今年で72周年であった。インドネシアではどの家も玄関に国旗を掲げ、街は赤と白の国旗色に染められていた。各地でも様々なイベントが開かれ、インドネシア人の愛国心の強さを感じた。インドネシアに来るまでは、歴史や世界の事象に興味を持つことは少なかったが、インドネシア人の歴史に対する思いを見たり聞いたりしていくうちに自然と興味を持てるようになってきている。

◎犠牲祭とは

イスラム教徒の文化で、裕福な家庭の者が牛や羊、山羊を買い、それを解体して貧しい者へ配る。買った牛や羊はその場で屠殺するので、子どもへの食育の意味もあるという。

犠牲祭の前日は、断食が行われた。犠牲祭はラマダン明けのレバランと同じく、イスラム教の中での2大祝日だそうで、当日はレバラン時のように親戚の人々への挨拶周りが行われた。ホームステイ先の親戚の家では、牛と山羊の屠殺が行われ、昼食としてその肉が振る舞われた。残念ながら、今回は屠殺する瞬間は見るができなかったが、至る所で行っていたので来年は実際に見てみようと考えている。



捌かれたばかりの牛肉

【交通面について～イベント時の移動手段～】

今回は、イベント時の移動手段について報告する。インドネシア人はイベント好きで結婚式や誰かのお見送りなど、何かしらあると大勢が一か所に集まってくる。これまでも報告してきたように、私の任地はバイク移動が基本である。バスのような公共交通機関は整っていない為、大勢が移動するとなるとバイクでは足りない。そこで、活躍しているのが「軽トラック」である。一家族が所狭しと荷台に乗り込み、イベント会場へと向かう。見ている側としては大変恐ろしいが、皆慣れた様子で平然としている。貧しい家庭の大事な足でもあるので、取締りが行われると様々な問題もあるかと思うが、一刻も早く公共交通機関を整えて欲しいと思う。

